

小樽商科大学 卒業論文（昭和40年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和40	2255	ラテン・アメリカにおける経済政策の形成 A.O.ハーシュマン「進歩への旅」	
昭和40	2256	G.ミュルダール『国際経済論』の要約と解説	
昭和40	2257	現代資本主義分析 -福祉世界形成のために-	
昭和40	2258	国際通貨制度の変遷と展望	
昭和40	2259	国連と米国の外交経済政策 by B.Higgins	
昭和40	2260	翻訳 外国資本と発展	
昭和40	2261	国際貿易と経済発展 -低開発国の貿易をめぐる問題と農業発展について	
昭和40	2262	国際通貨制度の研究	
昭和40	2263	F.マツハループ著 国際貿易と国民所得乗数International Trade & the	
昭和40	2264	経済学と価値 -新しい経済への道-	
昭和40	2265	利益管理における基礎的問題の考察 エバンスの「利益計画」を中心にし	
昭和40	2266	表に出口! 資金運用表	
昭和40	2267	引当金	
昭和40	2268	資金剰余金の検討 -「企業会計原則」の規定を中心として-	
昭和40	2269	金融要素としての減価償却に関する一考察	
昭和40	2270	期間損益計算における計算原則	
昭和40	2271	会計の論理と商法の論理との調整 (昭和37年の商法改正を中心として)	
昭和40	2272	低価主義研究	
昭和40	2273	企業利益と課税所得との差異について	
昭和40	2274	実体資本維持会計について	
昭和40	2275	労使協議について	
昭和40	2276	日本に於ける職務給導入の諸問題に関する一考察	
昭和40	2277	成果配分と利潤配分 -カイザープラン、スキャンロンプラン、ラッカープラン	
昭和40	2278	集団効果とリーダーシップ	
昭和40	2279	EDPSの発展と経営管理組織	
昭和40	2280	職業分析と賃金管理	
昭和40	2281	目標による管理と人間関係	
昭和40	2282	ゼネラル・スタッフの組織化とコントローラー機能	
昭和40	2283	事業部制と内部振替価格	
昭和40	2284	採用管理の近代化	
昭和40	2285	経営組織と人間関係論の融合	
昭和40	2286	経営分析と賃金決定	
昭和40	2287	経営計画における諸問題	
昭和40	2288	技術革新と労働問題 その若干へのapproch	
昭和40	2289	トップ・マネジメントに関する一考察	
昭和40	2290	利潤概念について	
昭和40	2291	株式会社の支配構造と指導原理	
昭和40	2292	経営の行動科学	
昭和40	2293	経営者啓発と成長計画	
昭和40	2294	二重構造における中小企業	
昭和40	2295	卸売商の現状と将来	
昭和40	2296	日本のスーパーマーケットの現状と将来	
昭和40	2297	マーケティング理念〈消費者中心的思考は消費者利益の伸長を真に可能なしむるか〉	
昭和40	2298	国際石油情勢と日本の石油問題	
昭和40	2299	銀行のマーケティング	
昭和40	2300	消費者主権に関する諸問題	
昭和40	2301	小売店経営の大型化	
昭和40	2302	割賦販売について	
昭和40	2303	水産物市場における一考察	
昭和40	2304	再販売価格維持契約についての考察	
昭和40	2305	流通革新下の問屋について -問屋無用論の解明-	
昭和40	2306	広告心理学(Advertising Psychology)	
昭和40	2307	何が我々を購買行動に駆り立てるか?	
昭和40	2308	現代広告における一考察	
昭和40	2309	マーケティング論の性格と再販売・価格維持制度の問題について	

小樽商科大学 卒業論文 (昭和40年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和40	2310	General Conditions of Japanese Economy of Late and the International Monetary Found	
昭和40	2311	東南アジアの姿	
昭和40	2312	Theory of Value -An Opimatic Analysis of Economic Equilibrium-	
昭和40	2313	国際通貨制度改革論議とIMF体制の行方	
昭和40	2314	日本貿易の問題点 -その検討と今後の方向-	
昭和40	2315	国際通貨と国際流動性	
昭和40	2316	Export-Centered Economic Growth	
昭和40	2317	交易条件と経済発展	
昭和40	2318	ウガンダの道路並びに交通事情	
昭和40	2319	国際通貨制度 -現体制の改革問題を中心として-	
昭和40	2320	貿易商社の将来	
昭和40	2321	大戦後の日本経済と貿易	
昭和40	2322	東南アジア経済開発の分析	
昭和40	2323	キンドルバーガー著「交易条件」抄訳	
昭和40	2324	ハロッド、ジョンソンに於ける経済成長と貿易	
昭和40	2325	自由化と日本農業	
昭和40	2326	Charles P. Kindlberger "The Terms of Trade"(交易条件)抄訳	
昭和40	2327	東西貿易の理論と問題点	
昭和40	2328	会計基準の性格 A.A.A.会計基準を中心にして	
昭和40	2329	企業会計における保守主義の性格	
昭和40	2330	減価償却論	
昭和40	2331	標準原価計算論 -史的考察と企業会計における地位-	
昭和40	2332	生産性会計 -生産性測定についての一考察-	
昭和40	2333	引当金についての考察	
昭和40	2334	シュマーレンバッハ動態論の再検討	
昭和40	2335	収益性及財務流動性、安全性の分析 -関係比率法による考察-	
昭和40	2336	資本会計論 -資本剰余金の性格検討を中心として-	
昭和40	2337	利益管理	
昭和40	2338	資金会計の概要	
昭和40	2339	現代企業会計の理念とその価値的考察	
昭和40	2340	機関損益計算論 -費用・収益概念と発生主義・実現主義の吟味-	
昭和40	2341	シミュレーションによるマーケティング分析 [1/3]	共同論文 (2341, 2345, 2346)
昭和40	2342	ゲームの理論とその将来性	
昭和40	2343	Port folio Selection -その理論と実証- [1/4]	共同論文 (2343, 2344, 2352, 2353)
昭和40	2344	Port folio Selection -その理論と実証- [2/4]	共同論文 (2343, 2344, 2352, 2353)
昭和40	2345	シミュレーションによるマーケティング分析 [2/3]	共同論文 (2341, 2345, 2346)
昭和40	2346	シミュレーションによるマーケティング分析 [3/3]	共同論文 (2341, 2345, 2346)
昭和40	2347	在庫管理シミュレーション(段ボール) [1/3]	共同論文 (2347, 2348, 2349)
昭和40	2348	在庫管理シミュレーション(段ボール) [2/3]	共同論文 (2347, 2348, 2349)
昭和40	2349	在庫管理シミュレーション(段ボール) [3/3]	共同論文 (2347, 2348, 2349)
昭和40	2350	企業の行動理論 -価格および産出量決定とシミュレーション分析-	
昭和40	2351	マルコフ連鎖	
昭和40	2352	Port folio Selection -その理論と実証- [3/4]	共同論文 (2343, 2344, 2352, 2353)
昭和40	2353	Port folio Selection -その理論と実証- [4/4]	共同論文 (2343, 2344, 2352, 2353)
昭和40	2354	ヨハンセンの二部間成長モデル Simulations & Comments. [1/2]	共同論文 (2354, 2355)

小樽商科大学 卒業論文 (昭和40年度)

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和40	2355	ヨハンセンの二部間成長モデル Simulations & Comments. [2/2]	共同論文 (2354, 2355)
昭和40	2356	地域間距離に視点を置いた地域経済分析 グラヴィティ-ポテンシャルモデルを中心としての展開	
昭和40	2357	地域産業連関分析モデルと低開発国問題	
昭和40	2358	統計的決定理論 -自然を相手とした戦略を中心として-	
昭和40	2359	産業連関論に関する若干の考察	
昭和40	2360	Zero-sum Two-person Game の理論、解法及びその銀行貸出政策への適用	
昭和40	2361	基本的なターンパイク定理の証明	
昭和40	2362	動的品質論	
昭和40	2363	海運業における不公正競争	
昭和40	2364	アメリカ反トラスト法の域外適用について -Extraterritorial Application under the Antitrust Laws of the United States	
昭和40	2365	合併に対する独占禁止法の適用	
昭和40	2366	アメリカに於ける反トラスト政策の特質	
昭和40	2367	我国における戦後の金融情勢とオーバーローンについての考察	
昭和40	2368	自己金融論	
昭和40	2369	恐慌論 -資本蓄積を軸とした「資本論」の再構成-	
昭和40	2370	レーニンに於ける経済分析に関する一考察	
昭和40	2371	品質管理 -管理図とその周辺-	
昭和40	2372	待ち合わせ理論 概説	
昭和40	2373	R.A.フィッシャーの学問と思想	
昭和40	2374	租税転嫁論	
昭和40	2375	経済成長と租税政策	
昭和40	2376	安定と成長のための予算貨幣政策および構造政策 -保存資産選択理論を基礎として-	
昭和40	2377	10時間運動について	
昭和40	2378	デイヴィット・ヒューム論	
昭和40	2379	民族問題について	
昭和40	2380	封建制度の契機とその展開	
昭和40	2381	マンハイムのイデオロギー論	
昭和40	2382	マックス・ヴェーバーに表れた個人の生き方の問題 -責任論理を通して-	
昭和40	2383	アルベール・カミュ論(その思想と文学)	
昭和40	2384	階級意識と社会変動	
昭和40	2385	岐路に立つDirect Mail	
昭和40	2386	流行の心理的考察	
昭和40	2387	POP広告 -その効果測定をめぐって-	
昭和40	2388	ポリティカル・アパシーについて	
昭和40	2389	ファシズムへの道(ナチズムの社会心理)	
昭和40	2390	タバコに関する調査 ハイライトは何故売れる?	
昭和40	2391	労働と余暇	
昭和40	2392	年功制賃金体系とその功罪	
昭和40	2393	職場における青少年従業員の生活意識の実態 青少年勤労生活意見調査による	
昭和40	2394	パーソナリティ(性格)とソシオメトリイの関係	
昭和40	2395	独占化傾向 -独占は増えつつあるか-	
昭和40	2396	N.Kaldor均衡成長論	
昭和40	2397	経済の成長に関する理論考察	
昭和40	2398	セカンド・ベスト理論についての考察	
昭和40	2399	イギリス労働組合史の経済的展望 -イギリス労働組合は賃金にどれだけ影響したか-	
昭和40	2400	F.A.ハイエク著 『Individualism and Economic Order』	
昭和40	2401	古典派的二分法の復権 -パティンキン論争始末記-	
昭和40	2402	ワルラスの一般均衡体系と貨幣の理論	
昭和40	2403	企業の投資行動に関する若干の考察	
昭和40	2404	管理通貨制度下の通貨の供給と物価騰貴の考察	

小樽商科大学 卒業論文（昭和40年度）

年度	番号	論題 (Theme)	備考
昭和40	2405	企業間信用について	
昭和40	2406	資本集中と株式会社支配	
昭和40	2407	中小企業金融問題の展望	
昭和40	2408	我国(明治・大正時期)の金融事情	
昭和40	2409	ラドクリフ報告の流動性理論	
昭和40	2410	イギリス金融資本の研究 その成立発展に果たす金融市場の意義	
昭和40	2411	高度成長の金融的側面 -我国の企業金融と資本蓄積について-	
昭和40	2412	戦後我国に於ける金融資本の発展 -支配機構の特色について-	
昭和40	2413	通貨諸制度における通貨価値への考察	
昭和40	2414	日本の金融問題 歴史的背景からの一考察	
昭和40	2415	イギリス金融資本の成立及現代における金融資本家グループ	
昭和40	2416	日本の社会的費用について	
昭和40	2417	日本の経済成長における諸要因の分析	
昭和40	2418	消費者および企業から見たインフレーション問題 -B.Hansen理論を中心として-	
昭和40	2419	在庫循環理論	
昭和40	2420	日本経済の現状 -物価騰貴を中心として-	
昭和40	2421	矢内原忠雄研究 -植民理論を中心として-	
昭和40	2422	日本経済の成長と二重構造	
昭和40	2423	景気循環	
昭和40	2424	日本経済の二重構造 形成要因とその歴史的把握	
昭和40	2425	景気変動理論 ヒックスの『景気循環論』に関する研究	
昭和40	2426	経済成長理論に関する根本的考察 -望ましい社会観に基づく成長理論のモデル化-	
昭和40	2427	日本型労働組合の組織の特質に関する一研究	
昭和40	2428	社会保障の所得再分配	
昭和40	2429	農家労働力の流出構造	
昭和40	2430	民事責任の発展と自動車損害賠償保障法の成立と同法をめぐる諸問題	